

11月7日・8日 東北ブロック「保護司のための SST 研修」

会 場 TKP 仙台西口ビジネスセンター

講 師 片柳 光昭氏 (SST 普及協会認定講師)

渡部 裕一氏 大和田 雅子氏 三浦 敬二郎氏 柿崎 真澄氏

参加者 27名 (青森4名・盛岡3名・仙台5名・秋田5名・山形4名・福島6名)

【第1日目 午後1時から5時まで】



片柳講師による SST についての講義です。

SST は、対人関係上の様々な技能を練習により獲得することを目的とした方法です。認知（その人の物事の受け取り方、捉え方）が適切に働くようにするためのトレーニングも行います。

SST は、社会的学習理論（人間として成長発達の大部分が、学習経験の積み重ねによって形成されることを前提として、何をどのように工夫することで学習が促進されるかという考え方）により理論的に裏付けのある治療方法として確立されている旨の説明がありました。



いよいよ演習開始です。

自己紹介をした後、3人1組となって用意されたシナリオロールプレイを演習しました。保護司役、対象者役、オブザーバー役となり、途中で役割を交替して3人が全ての役割を体験しました。

渡部講師と柿崎講師によるデモンストレーションを見て学習した後、面接の中で、どのように SST が活かされていくか、シナリオを使って役割を演じながら SST の流れを身に付けていきました。

【第 2 日目 午前 9 時から午後 4 時まで】

ウォーミングアップ（共通項探し、順番並べ、気分を天気で表す）をして緊張をほぐし、昨日の振り返りをした後、引き続きシナリオを用いたロールプレイ演習に取り組みました。



『SST の技法を活用して、対象者の対人関係に関する課題の解決を目指す。』ことを目的にした演習では、「対象者の話を丁寧に聴き、本人の認知のポイントを知る。」→ 「別の捉え方を探り、本人にそれを提案する。」→ 「保護司がモデリング（手本）を見せる。」という、ここまでを面接の中でどのように進めていくか、集中して練習しました。保護司が行動の手本を見せるだけでも、対象者の適切な技能獲得に確実につながる旨の説明がありました。



次に、大和田講師によるコインマップの説明を受け、柿崎講師と三浦講師によるデモンストレーションを見た後、コインマップを体験しました。コインマップをする役、相手役、オブザーバーを決めて進めていきます。実際にコインを使って、自身の家族関係や職場での人間関係などについて、コインを置いて表しました。参加者から、すぐにコインマップを実践してみたいと多くの声があがりました。



最後に、問題解決法（問題解決技能訓練）を学びました。問題解決法は、発生した問題に対して、どのような解決方法がその人にとって最も妥当なのか検討し、その人が自分で選んで行けるようにする支援する手法です。複数の解決案を挙げ、それぞれのメリット、デメリットを考えることで、出来事に対する捉え方を広げて、別の視点からの捉え方を増やしていくことになります。

以上、参加者 27 名が積極的に演習に取り組み、全研修（10 時間）を終了しました。

*参考 片柳講師作成配付資料